

「2010年計測制御エンジニア講座」開催報告

計測制御エンジニア会主催による計測制御エンジニア講座は、今回で5回目を迎えます。計測制御エンジニア受験予定者に限らず、計測制御エンジニア既認定者および学生を含む計測制御技術に興味のある方全員を対象としています。

ガス業界・石油業界・自動車業界・鉄鋼業界に続き、今回は、化学業界における計測制御技術の役割を現状の最新技術といくつかの個別話題を提供していただきました。12月9日に三菱化学本社ビルに於いて、30名以上の参加者を得て開催されました。



以下に講座の概要を示します。

- ①計測制御エンジニアの役割について：江木紀彦様
- ②化学産業における計装技術の動向：竹田 浩伸様
- ③計測制御技術者の育成：梶原 一男様
- ④高度制御導入及び保守：大山 敏様
- ⑤バッチプロセス安定操業へのアプローチ：河野浩司様
- ⑥デジタル通信によるフィールド診：青山 貴征様
- ⑦「三菱化学ケミストリープラザ」の見学

<講演所感>

江木計測制御エンジニア会会長からは「計測制御エンジニアの役割について」の理念を語られ、技術伝承・後継者の育成・計測技術者の新しい場での活躍への期待が示されました。竹田様からは、化学産業における計装技術の動向について説明がありました。特に最近の技術である無線計装・フィールドバス・モバイル機器・アラームマネジメント更にはプラント制御系のセキュリティーに対する取り組みが紹介されました。梶原様からは、化学業界における計測技術者育成についての紹介がありました。社内における育成システムのねらいや育成プログラムの紹介、育成実績が示され、他の計測制御エンジニアにも参考になる説明がされました。大山様は化学工場において実際に実施されているモデル予測制御に関する原理・適用手順・保守にいたるまで高度な制御を

実践している事例が紹介されました。河野様からは化学プロセスにおける現状の問題点として品質の不安定な要素としてレシピ設計を取り上げていただき、問題解決の切り口⇒アプローチ事例（データ解析）⇒工場工程進捗コントロールし、バッチプロセスにおける品質向上の手段が説明されました。青山様からは、我々計測制御エンジニアの共通の課題であるフィールド機器の診断についてデジタル通信により解決する方法に関する説明がありました。

三菱化学本社のケミストリープラザの見学会では、技術プラットホームゾーンでは三菱化学の基盤を支える無機化学・有機化学・加工技術・生産技術・分析技術が紹介されました。7大育成事業ゾーンでは、将来の三菱化学の育成する事業が紹介されました。ソリューションゾーンでは、既に世間に展開されている製品の紹介されました。あらためて、我々の生活にこんなに多くの製品で化学製品が活用されていることを実感した見学会でありました。



懇親会を含め、多くの場で質疑応答がなされ、また講演に関して議論がさらに深められる等、普段訪れることの少ない異業種を見るということの大切さが再認識されました。

最後になりましたが、本企画・アレンジいただきました村田様、長谷川様をはじめとし、熱心にご説明いただきました講師の皆様には、お忙しいにもかかわらず、私たち計測制御エンジニアのためにお時間をさいていただきまして、ありがとうございました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

(計測制御エンジニア会：淵 昌彦)